

酒類・食品 & News 解説

週刊

令和8年1月23日(金曜日) 第3479号

(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)

毎週金曜日 発行 編集発行人 石母田 健

購読料 6カ月 15,730円(税込み)

振替番号 東京4-71739

発行所 横井日刊経済通信社

本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル

☎03(5847)6611代 FAX 03(5847)6600

名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791

<http://www.nikkankeizai.co.jp/>

26年新春の市場見通し

京阪神 酒類食品流通市場

【大阪】 今年の京阪神市場は、激変する市場環境の荒波を乗り越えながら、未だへ続く市場形成を着実に進めていく年となろう。

昨年開幕以降大いに盛り上がり、成功を収めた大阪・関西万博では、様々な最新技術が紹介されたが、閉幕後は着々と社会実装が進められているところだ。

少子高齢化と人口減少による国内市場の縮小が言われて久しいが、令和以降の生活スタイルの変化と物価上昇により急速に進んだ感がある。過疎化や人手不足、物流問題など市場と絡み合いながら深刻化する各課題に最新技術を取り入れながら、新たな社会の形を作っていくことが模索されている。

小売企業の再編や他エリアからの関西進出が進むなか、勢いのある店舗に購買力のある若年層が集中する一方、高齢化が進む地域では量の需要が縮小していく消費者だけ

で、店舗を支えきれず、都市部であつても買い物困難が問題となつてきている。

ローソンは昨年12月、KDDIとともに大阪府池田市と包括連携協定を締結し、店舗を拠点としたマチづくり構想「ハッピー・ローソンタウン」を発表した。

池田市にある、50年前に開発され街が高齢化しているニュータウンにおいて、地域の再創生に取り組むもの。東京・高輪のKDDI本社内にある実験店舗での実証を取り入れながら、リモート接客や店舗運営におけるAI・ロボティクスを横展開するなどにより利便性を追求するとともに、防災やコミュニティなど地域住民の声を反映させながらエリアニーズを取り入れ、人手不足や少ない消費人口でも成立する店舗モデルを目指す。

60~70年代に開発された、いわゆる「オールドニュータウン」は全国に2022地区あり、少子高齢化や空き家空き地の増加、商業施設の遊休化など、少子高齢化・人口減社会が抱

激変を乗り越え新たな形を模索

けるAI・ロボティクスを用いる地域課題の縮圖となつていている。池田市での取り組みをモデルケースに、全国で地域課題に応じた店舗を開発され街が高齢化しているニュータウンにおいて、地域の再創生に取り組むもの。東京・高輪のKDDI本社内にある実験店舗での実証を取り入れながら、リモート接客や店舗運営におけるAI・ロボティクスを横展開するなどにより利便性を追求するとともに、防災やコミュニティなど地域住民の声を反映させながらエリアニーズを取り入れ、人手不足や少ない消費人口でも成立する店舗モデルを目指す。

おり、エリアごとの生活ニーズに密着したカスタマイズにより、人口減少と高齢化が進む過疎地域でも採算性のある店舗運営が見込める」と捉える。

SIMに比べて小商圈・小人数で営業が維持でき、全国に物流網があるというSIMの特性を生かし、SIMが撤退した地域で地域ニーズを取り入れた「地域共生コンビニ」を展開している。

マチづくり構想でも、小売店舗としての役割だけでなく、コミュニケーション

主な内容

京阪神の市場見通し

1~3面

(清酒、食肉加工品、外食)

トリン国内酒類3%増狙う

ソニーフィズ春の新商品多彩

4面

◎原料商品情報

89面

10面

11面

7面

13面

14面

14面

15面

15面